

平成28年度予算委員会 農業費 商工費（笹岡ゆうこ質疑）

【笹岡委員】 4日目もよろしくお願いいたします。

まず、農業費について、お伺いいたします。予算の説明書239ページ、農業関係事業の共通事務に要する経費ということで4,400万円、平成27年度が2,200万円であったのに対し、かなり増えております。これは、職員手当がほぼ倍になっていること、人件費の一般職が2人から5人になっていることかなと思いますが、こちらの御説明をいただきたいと思います。

【五十嵐副市長】 ただいまの部分は人件費にかかわることになってしまうのですが、概要だけ申し上げますと、農政を強化していくということもありますが、その職場に所属している職員がちょっと体調を崩して休まざるを得ない状況であったりして、そういう部分に職員を手厚く機動的に配置しているという結果がこのようになっているところがございます。詳細については、人件費ということで、御容赦いただきたいと思います。

【笹岡委員】 わかりました。

では、商工費に移りたいと思います。先ほどの委員も言ったように、**創業支援**について伺いたと思います。今回、大幅に予算がふえていると思うのですけれども、**創業支援**について、**予算が174万8,000円だったのに対し、26年度の決算は57万円となっております。**

今回の28年度の予算の参考資料ですと1,685万5,000円の予算ということで、これはインキュベーション施設の運営というものが入ってくるから、これだけふえたのかなと思いますが、少し説明をいただきたいと思います。

また、26年度決算分ですと、創業支援コーナーの相談が25人、実際に創業された方が17名、商工会議所創業塾の参加者が26人、実際に創業された方が1名。また、平成27年度の資料はまだいただいていないのですけれども、こちらは男女比等、どうなっているのかなと思います。これは、また先ほどとちょっとかぶるのですけれども、女性が少なければ、**女性向きの創業塾等**を考えていただきたいなと思って聞いております。まず、そちらをお願いいたします。

平成28年度予算委員会 農業費 商工費（笹岡ゆうこ質疑）

【西川生活経済課長】 まず、商業の予算で、26年度は正直、余り大きい金額ではないということですが、これにつきましては、26年度、私どものほうで商業の窓口を設置しまして、そこにアドバイザーということで、創業支援の相談を受ける方を配置しております。

週に1回、水曜日に予約制で相談をやっておるのですが、現状、日本政策金融公庫のほうから、そこの社員さんに来ていただいて相談を受けております。それは、金額的には無料ということでやっております。実は、その相談がもっとふえるようであれば、別途、金融機関の方を委託という形をお願いして来ていただこうと思っております、その予算を組んでおりました。今年度もその予算を組んでおるのですが、そこを使わずに済んだというのが現状であります。

それから、創業された方の男女比になりますが、先ほどおっしゃった17名の内訳としましては、**男性14名の女性が3名**。

それから、会議所のほうは基本的に男性だけということで聞いているところでございます。

一応、女性向けのセミナー等につきましては、私どもも創業のネットワークを組んでいる各事業者と共催あるいは後援をつけるような形で実施している中で、たましんさん、あるいは日本政策金融公庫さんと共済でやっていますミニブルーム交流カフェという名前で、20名ぐらいの規模でやらせていただいている中で、女性創業者の方に何度か来ていただいて、御自分の体験談等をお話をしていただいたりしていることと。

それから、マネジメントブレーションさんという民間会社ですが、私どもと一緒に事業協力してやっていたところの創業塾等では、特に女性に的を絞った、女性を対象としたものも複数回やっております。全体的に現状では、男性の創業者のほうが多いということが数字としては出ておりますが、女性につきましても、私どもとしましても、きめ細かに女性の創業をしていただけるようなフォローをしていきたいと思っております。

【笹岡委員】 ありがとうございます。創業支援に関しては、ぜひ力を入れて、新しいものを生み出していただきたいと思いますと思っております。女性向きの創業塾もあるということで、私も少し調べたのですが、女性のアドバイザーを入れたりして、とてもいいなと思えました。

平成28年度予算委員会 農業費 商工費（笹岡ゆうこ質疑）

今の御説明で、もう少し御説明していただきたいのですが、26年度、窓口のアドバイザーを週に1回ということで、ふえるようであればと思って予算組みをしているということでしたが、実績はふえていなかったのですね。

これは、また同じようにふえるようであれば予算組みをするということなのですか、こちら、どのくらいふえると予想していらっしゃるのか、伺いたしたいと思います。

あと、創業された方の男女比、今、伺いましたが、男性14名、女性3名、むさしの創業支援相談コーナーにおいてということですが、済みません、もしわかれば、この相談に来た方、25名の中の内訳、また、商工会議所創業塾に参加された26名のうちの内訳、これも全て男性なのか、ちょっと知りたいところなので、わかればお願いいたします。

日本政策金融公庫さんのアドバイザーが来ていらっしゃるということですが、こちらのデータによりますと、2013年は全体の2割が女性起業家ということで、前年度比24%増というデータが出ております。

2014年になりますと、前年度比118%、女性起業家が増ということで、こちらはかなり注目していったいいのではないかなと思います。

私も先日、「ママだって近い将来働きたい」というテーマで取材を受けました。かなり短い時間からフルタイムまで、皆さん考えていらっしゃるというのが、新しい、今までなかった動きなのかな、そういう人がふえているのかなと感じています。

そこで、インキュベーションオフィスの貸し出しということですが、起業の初期段階の支援等を考えておりますが、とても大切なことだと思っております。

武蔵野の特定創業支援事業ですと、創業を考えている方と創業した5年未満ということですが、対象者は創業から何年までが対象になるのかということをお伺いしたいと思います。

【西川生活経済課長】 1個前に答弁した中で、女性の創業者数のところですが、市のほうは17で、14と3という比率で間違いはないのですが、済みません、会議所のほうの創業塾を受けた方は、その1名は女性でございまして、男性ではございません。申しわけございません。訂正させていただきたいと思っております。その相談を受けた方につきましては、市のほうでは25名受けておるのですが、これは男性19の女性が6です。

平成28年度予算委員会 農業費 商工費（笹岡ゆうこ質疑）

それから、会議所の創業塾のほうでは、26名の方が創業塾を受けていただいています、男女とも同じ13名ずつの比率で受講いただいているところでございます。

【小島市民部長】 創業施設への入居の条件については、今、検討中でございます。これはまだ決定しておりません。

【土屋委員長】 笹岡委員に申し上げますけれども、細かいことだったらたくさん並べて言ってあげてください。

【笹岡委員】 今、答弁いただいていないのが、窓口アドバイザーがふえると思って予算組みをしているけれども、決算額は思ったほどなかったということですが、**こちらはまたどのくらいふえると見込んで今の予算額1,685万円にしているのか**。ここの詳細も先ほど、まだ御答弁いただいていないので、お願いいたします。

【西川生活経済課長】 創業の窓口の目標値というのを出しておまして、国のほうにも**創業支援**事業計画として届けておりますが、これの中では、私ども、**60名の相談を受ける**ということを目標値としております。それには、実績的には届いていなかったというのが現状でございます。

【笹岡委員】 60名ふやすと考えていたけれども、そこまでは行かなかったということですが、**こちらはとも予算を大きくとっておりますので、それが実行できるのかどうか**、どのようにしてふやしていこうと、周知を含め、どのようにお考えなのかということ伺いたしたいと思います。先ほども申しましたように、**平成26年度の決算額は57万円なわけ**です。そ

平成28年度予算委員会 農業費 商工費（笹岡ゆうこ質疑）

それが今回、同じ創業支援でインキュベーション施設の運営に対して補助を行うということですが、1,685万円というのは規模がかなり大きくなったなと感じております。

そこの部分の詳細といいますか、周知を含め、どのようにこれを実行していこうと思っていられるのかが、ちょっとまだわかりづらいので、周知方法というのを中心に伺いたいと思います。

あと、インキュベーション施設の運営に対してかかるお金というのはどのくらいになると予測されているのか。まだ詳細が決まっていないみたいなのですが、そこの運営についての予想規模も伺いたいと思います。

あと、市外から市内に呼び込みたいということですが、市外に対しても先ほど御答弁がありました。どのような周知を行って、市外から市内に創業支援をやろうと考えていられるのか、そこの部分も伺いたいと思います。

もう1点、女性の起業家に注目していただきたいということを申し上げたのですが、**女性というのは男性起業家に比べ、経験とか知識が不足して相談相手がいないことが起業の一番のネックだと言われています。**

今、**中小企業白書 2011年**に女性起業についてかなり詳しく述べられておりました。そこによると、これは男女の性差のいろいろなことで言っているのではないのですが、**男性に比べて社会に貢献したいと思う方が多いらしい**です。

そして、**年齢に関係なく働きたいと思っている女性が多い**ということで、これは行政主導で支えてくださって、そのアドバイザーとか相談とかいろいろできるようになれば、今、注目されている層でもありますし、うまくいけばとても地域がおもしろくなると思いますし、地域活性化にもつながるのではないかと考えております。

ですので、**女性起業家の講演とかアドバイザーについても、女性アドバイザーをもう少しふやしていただいたり、先ほど創業塾で女性専門のものがあると思いましたが、そういったところももっと力を入れて注目していただきたいな**と思いますが、御見解を伺います。

また、先ほどの委員が言いましたけれども、私も中野ではなく、埼玉のものをを見つけました。

平成28年度予算委員会 農業費 商工費（笹岡ゆうこ質疑）

自治体主催で全国初の女性応援イベント、SAITAMA Smile Women フェスタ、さいたまスーパーアリーナで行われるということです。こういったこともぜひ創業支援の枠組みの中の視点の一つとして入れていただきたいと思います。もし御見解等があればお願いいたします。

【西川生活経済課長】 まず、創業支援の予算の内訳ということになるかと思いますが、**創業支援のインキュベーション施設の運営費補助ということで1,400万円を計上しております。**

これにつきましては、基本的に創業者、その方に補助金を交付するのではなくて、創業者を支援する事業者インキュベーションの施設を基本的に市内に設置し、運営していただくための補助として1,400万円を計上しているところでございます。

それ以外の部分で言いますと、先ほどちょっとお話をしました創業支援アドバイザーということで、私どもの窓口で創業支援の相談で入っていただく予定の方に124万8,000円。それから、創業支援セミナーを今年度、概算要求させていただいて実施を考えております。その内容としましては、今後検討していくのですが、今、お話にあるように、これから起業を目指す層といいますか、多いところで、女性だったり、例えば60歳以上。今の会社を定年されて、その会社で培ったスキルを生かして創業したいという方もかなり多いので、そういった方々に向けてのセミナーなどを考えていきたいと思っております。

それとあわせて、先ほどお話がありました、市外にどういふふう周知していくかということにつきましては、むさしの創業サポートネットの中には、事業所としてたましんさんとか西武信金さんが入っておりますので、県外はホームページ等で見ていただくということになるかと思いますが、多摩あるいは23区の特に西のほうであれば、そういった金融機関等を通して、あるいは日本政策金融公庫さんなども通して、武蔵野市ではこういうことをやっているよということを周知、PRができるのかなと思っております。

女性のアドバイザー等につきましては、先ほどセミナー等でやるのと同時に、また各協力事業者の中でも、女性の創業という切り口ではいろいろなことをやっておりますので、それを私どもと協力してやっていただく、あるいは私どものほうからそういうものがありますよという

平成28年度予算委員会 農業費 商工費（笹岡ゆうこ質疑）

ことをお伝えしていくような形で、多くの女性の方にも興味を持っていただければと思います。

【笹岡委員】 わかりました。

市外の方も含めた周知は、金融機関とか日本政策金融公庫を通してということですが、こちらはもう決断して金融機関等に相談しに行かないと入ってこない情報になってしまうのかなと思います。

普通に何かやりたいけれども、どうしたらいいかわからないという状態の方に対して、どのように周知を行っていくのか。

そういったことがもっと重要になってくるのではないかなと思います。予算の詳細は、創業支援に対して、インキュベーション施設の運営に関して1,400万円ということで、単純に予算額から引くと285万円がその他の創業支援にかかるということですが、平成26年の予算額から単純に比べても100万円ほど多く計上されております。

ですので、そういった今、声が出ていないところとか姿が見えない人たちの声をどのようにつかんで、周知してつなげていくかというところを、金融機関を通してだけではなく、もう少し積極的に周知等を含め、やっていっていただきたいと思います。

次に、企画提案型補助金と中小規模事業者等への補助金事業について伺います。

企画提案型補助金に関しては、平成26年度の決算だけですと254万円ということで、予算額600万円から比べてかなり少ないかなと思っております。

先日の決算委員会では、平成27年度も600万円、今回もまた600万円予算ということですが、こちらの手応えといったことと、今後、どのように変えて力を入れていくのか。600万円と254万円だと、かなり頑張らないといけないのかなと思うのですけれども、どのようにお考えか、伺いたいと思います。

また、中小規模事業者等の補助事業についても同じようなことなのですが、8,900万円の予算で、平成26年度の実績ですと5,000万円なのです。平成26年度の予算も8,500万円計上しておりますが、決算が5,000万円ということで、単純計算すると3,520万円

の差が出ております。ここで、なぜまたもっと増額しているのかなというところの御説明をいただきたいと思います。

また、細かいところですが、先ほどの御説明にありました、予算説明書の247ページ、利子補給等事業の中小規模事業者事業資金利子補給及び信用保証料補助金。こちらは、平成26年度の決算から700万円減ということで、次に改善資金利子補給金が170万円増ということですが、何件ぐらいの増を見込んでの減と増なのか、説明を伺いたいと思います。

【西川生活経済課長】 まず、先ほど御質問がありました創業支援の周知の方法ですが、実はことしの4月から私どもの創業サポートネットのほうでフェイスブックを立ち上げます。

それによっても広くいろいろな情報をお渡ししていきたい。それから、政策金融公庫さんのほうでは創業メルマガというものをつくってしまっていて、そういうところでも武蔵野市の情報も出せるようになっておりますので、先ほどの創業相談、資金計画等の話になると金融機関等にきていただくようなこととなりますけれども、そういった創業を考えているような段階の方でも、今はそういったインターネットを通して、いろいろなところの情報にアクセスされると思いますので、そういった意味でホームページだったり、今、お話ししたフェイスブックとかメルマガという形で、できるだけ多くの媒体を使って発信していきたいと思っております。

それから、企画提案型の補助金でございますが、確かに26年度は使われ方が少なかったという結果が出ておまして、今年度は実は企画提案型補助金の仕組み自体は、商店会連合会のほうで要綱を持ってやっておりますが、その中で、事業を考えたところで検討委員会のほうでプレゼンを今までやっていただいていたのですが、それが少しハードルを高くしてしまったのではないかと委員会側の反省もありまして、今年度からはそのプレゼンに当たる部分を相談会という形で、商店会連合会あるいは私もそこに入っているのですが、むしろ、こうやったらもっとよくなるのではないかとか、集客につながるのではないかとといったことをアドバイスをする、あるいは向こうの方も、特に企画提案の場合は初めての商店街にまずやってもらいたいということもありますので、どうやっていいかわからないものも含めまして、その相談会でやりとりをする中で事業のイベントの企画を練り上げていただいて、その上で正式に審査会のほうに申請書を出していただき、つなげていくという形に切り

平成28年度予算委員会 農業費 商工費（笹岡ゆうこ質疑）

かえております。そういった中で、昨年以上に企画提案型事業で実施していただいている商店街がふえております。

今、まだ年度途中なのですが、6事業は実施しておりますので、その中でお金のかかる事業とかからない事業とありますので、必ずしも600万円、全部使い切るかというのは決算になってみないとわからないですが、26年度よりはそういった意味で提出しやすくなって、活性化してきているのではないかなと考えております。

それから、制度融資でございますが、市のほうの制度融資につきましては、基本的に融資枠という形で予算を計上しておりますので、その実績がそこまで伴っていない。要は、お金を借りるということは返すということで、そこまでの資金計画をつくった上で融資に来ていただくようなこととなります。なおかつ、金融機関のほう、あるいは信用保証協会のほうでの審査がありますので、必ずしも申請いただいたものが全て融資を実行できるということではありませんので、そういったところで決算と予算の差が出ていると思っております。ただ、この間の実績を見る中で、今年度につきましては700万円の減額をしております。

それから、もう1個のほうの小規模事業者経営改善資金利子補給金につきましては、これは商工会議所のほうで実施している資金融資でございますので、これには、ここに書いてあるように、経営改善の相談がセットになっております。

こちらのほうは、経営相談を受けていただくということが条件になっております。そのところでいろいろ相談ができるということもあるかと思いますが、あるいは商工会議所のほうのそういった会員の皆さんへの周知、PRをかなりこのところ積極的にやっていたということかと思いますが、実績がふえておまして、昨年の300万円の予算では利用に足りていないということがありまして、今年度、予算額のほうを470万円ということで、170万円ふやしているところでございます。

件数につきましては、商工会議所のほうにつきましては、例えば22年度とかだと11件、12件ぐらいだったところが、25年度35件、26年度35件ということで、今年度はまだ途中なので数字は出ていないのですが、3倍増ぐらいにこの間、なっておりますので、そういったことで実績も踏まえて、予算のほうをふやしております。

平成28年度予算委員会 農業費 商工費（笹岡ゆうこ質疑）

28年度の見込みとしましては、50件を見込んでおります。

【笹岡委員】 細かいところをありがとうございました。

今の50件というのは、小規模事業者経営改善資金利子補給のことでよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）

平成26年度の決算付属資料ですと152件になっているのですけれども、50件プラスということと合っていますか。

あと、**商工振興費に要する経費としまして、予算と決算の差が大分あるのではないかと**思っております。

それは、**予算をどう消化しようとか、そういうことではなく、配分のバランスとして少し**考えてもいいのではないかと思っております。

先ほどの中小規模事業者等の補助事業の平成26年度の実績ですと、3,520万円、予算額に届いておりませんし、**創業支援も平成26年度ですと予算額に120万円、届いておりません。**あと、**企画提案型も350万円ぐらい届いておりません。**

そういうことを考えますと、**全体の市の予算配分として、限られた予算の中でもう少し予算をたくさん持って、どうハードルを下げた消化するというのも、少しいろいろな考えがあるのではないかと思います**が、その全体の規模について、今後については、**私、今回、少し疑問に思いました。これは意見として言っておきます。**

【西川生活経済課長】 済みません、少し訂正になるかと思っておりますけれども、小規模事業者経営改善資金の利子補給ですが、笹岡委員のおっしゃっていた26年度、152件という数字につきましては、利子補給件数ということで、152件は間違いございません。

平成28年度予算委員会 農業費 商工費（笹岡ゆうこ質疑）

それで、私のほうで28年度の見込みで50件と言ったのは、新規融資件数が見込みで50件ということで、実は3年間の利子補給という形でやっておりまして、当然、昨年度、その前の年度に申し込んだ方には利子補給をしなければいけませんので、その利子補給件数で言いますと、28年度の見込みとしては215件ということで、それに見合った利子補給補助額ということで473万円を計上させていただいたという形でございます。

どうも済みませんでした。